

海も空も野も 平和のまま 子や孫に渡したい

イージスふあん通信

発行・イージスふあんクラブ・山口

No.02 2019年8月8日(木)

連絡先 〒753-081 山口市矢原 1015 番地

矢原市営住宅 B-106 麻田茂樹

電話 080-5750-2590 FAX 083-923-0747

E-mail huankurabu@gmail.com

【呼びかけ】防衛省への申入れ

8月23日午前11時～12時

防衛省 むつみ現地連絡所にお集まりください。

6月28日、7月23日に続く今年3回目の行動です。「防衛省は萩市・阿武町以外で説明会を開くことはまったく考えていない」「山口県とのやりとり」「自治体が要望すれば開催もありうるという本多企画部長の見解」について質問し、萩市・阿武町以外にも山口市などで住民説明会を開くように引き続き申入れをします。地元の人や住民の会(森上雅昭代表)の申入れに合流して参加します。

【大きな疑問・不安】

「自衛隊を地域の力に」という村岡・山口県知事は、イージス・アショア配備にすでに賛成しているのでしょうか？！

7月11日に行われた定例記者会見で、村岡副知事・山口県知事は、人口減少対策のテーマで読売新聞の記者の質問に以下のように答えています。

自衛隊の方々がですね、地域の中で盛り上げていくとかですね、そういった思いを持ってやるということ自体は非常にありがたいことだなあと思いますし、地域の力にしていければいいんじゃないかなあと思います。

「(自衛隊を)地域の力にしていこう！」

この発言は、どんな意図で言われているのでしょうか。「データは正確に」「正確な調査のやり直しを求める」「丁寧な説明を求める」と言っても結局は、自衛隊の迎え入れを、もうすでに想定しているのですか。

阿武町や萩市の多くの住民が、自衛隊・ミサイル基地によるまちづくりへの支障、阻害を心配し、住民生活の安心安全が脅かされることを危惧し、イージス・アショア配備にきっぱり反対していることをどう考えているでしょうか。県民の疑問や不安の声は無視でいいのでしょうか？ 7月3日、謝罪とって山口県に来て、阿武町長花田さんに暴言を浴びせて帰った岩屋防衛大臣と同じ立場ではありませんか。

⇒ 山口県ホームページ 県知事記者会見

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a11000/interview/2019.html>

⇒ 週刊金曜日オンライン

岩屋毅防衛相、ミサイル配備で揺れる山口県阿武町に“暴言” 横田一 2019年7月26日

<http://www.kinyobi.co.jp/kinyobinews/2019/07/26/antenna-522/>

【報告】7月3日 岩屋防衛大臣に県庁前で抗議

イージス・アショア配備をめぐる一連の不正確な調査と「配備ありき・適地の決めつけ」に山口県民は怒っています。50名のみなさんが、10時前から集まり、抗議の声をあげました。(写真は発言する藤井郁子さん)



【紹介】阿武町の反対表明

阿武町発行「広報あぶ」2018年10月号

2018年9月11日～20日に開かれた阿武町議会の報告が全文掲載されています。住民からの請願書、議員の趣旨説明、賛成討論など基礎的な資料が掲載されています。



広報「あぶ」2018年10月号



花田憲彦・阿武町長が議会で反対表明をしてから、もう間もなく1年目を迎えます。「阿武町のすすめてきたまちづくりにイージス・アショア配備はそぐわないし、阻害することになる」「町長としての大義は町民の安心安全を第一に考えることである」という明解な意志表明でした。

阿武町では、その後、町民の会が結成され、いまや有権者の6割を越す人が会員となって、イージス・アショアはいらないの声をあげています。

さらに、地域づくりのシンポジウム、海外から一流アーティストを呼ぶ11月のジャズコンサートなど定住移住の推進、住みやすいまちづくりが今まで以上に精力的に行われています。毎号楽しみな「広報あぶ」です。

⇒阿武町ホームページ

<http://townabu.sakura.ne.jp/735/>

【報告】宇部市で3氏を迎えパネルディスカッション

8月2日～4日、宇部市図書館で開かれた健文会平和フェスタでは、2日目の8月3日、萩市・阿武町の地元3団体の代表を迎えてパネルディスカッションが行われました。

イージス・アショア配備計画の撤回を求める住民の会の森上雅昭さん、総がかり行動萩の藤井郁子さん、そして平和を願う福賀の会の白松博之さんが、それぞれの取り組みと現地の様子を報告しました。午後1時から約3時間の長

時間、宇部市民ら約70人が参加し、質疑応答も熱心に行われました。



左から森上さん、藤井さん、白松さん

「報道で、うっすらとは知っていたが、地元の農家のみなさんの水源を壊したり、電磁波のもとで白菜・レタスの農作業や畜産を行うことになるとは知らなかった」「岩国に続いて、戦争の基地、ミサイル基地ができるとはとんでもないことだ。宇部からも反対の声をあげたい」「山陽小野田で予定されているレーダー基地も戦争のためだ。つながりがよくわかった」という感想が寄せられています。

イージス・アショア配備の問題は、地元の萩市や阿武町だけの問題ではありません。山口県、全国の問題です。

参加されたパネラーの3人のみなさんは、「全県でもっと知ってもらいたい」「どこでも行きます」とそれぞれ語っています。あなたの地域でどうですか？

【募集】 秋田県では、寺田静さんが、参議院選挙でイージス・アショアを争点にして当選！山口県では争点にすることさえ弱かった。なぜなのでしょう？どうすればこの現状を打開できるのでしょうか！ご意見を募集します。知恵を出し合いましょ！

【お知らせ】 会の活動やイージス・アショアをめぐる最新の情報は、facebook「イージス・アショアはいらん!山口」でどうぞ。☆月に一度、フリートークの会を開いています。今回は、9月6日午後1時～3時 県民活動支援センターです。

【後記】「イージスふあん通信」2018年11月号は、「イージス・アショア配備の問題点が俯瞰できる」と好評です。残部僅少です。同時に、動向を伝えるニュースもほしいという要望をいただいています。それで本号を2号とし、ニュースレター形式で随時、発行することにしました。ご愛読と配布・拡散をお願いします。(あ)